



元号が「令和」に替わり早一月…大きな混乱もなく無事に新しい時代が始まりましたね。ただ、書類などの元号を修正する業が煩わしく感じられますが、これも仕方ありませんかね…
田植え作業も一部を除きほとんど終わりましたが、これから本格的な「梅雨」に入ります…近年、大雨による災害が毎年続いていますけど、今年はそんな事が起きない事を願っています。

瓦版 6月号

発行 (株)カネマタ工務店
TEL 025-792-2560
FAX 025-792-7102
http://kanematak.com

アスパラとタコのバター醤油炒め

【材 料】 グリーンアスパラガス 10本 オリーブオイル 大さじ2
 茹でタコ(足) 240g バター 大さじ1
 ニンニク(みじん切り) 小2辺 大豆醤油 大さじ1
 白ワイン 大さじ2



- 【作り方】
- (1). グリーンアスパラガスは根元の固い部分を2cmほど折り、2cm長さに切る。
 - (2). タコの足は水洗いし、小さめの乱切りにする。
 - (3). フライパンにオリーブオイルを入れて弱火で熱し、ニンニクのみじん切りを焦がさないように炒める。
 - (4). 香りが出てきたら中火にしアスパラガスを入れ炒め、ワインを入れてすぐに蓋をし弱火で1分半ほど蒸し煮にする。
 - (5). 蓋を取りタコを加えて炒め、バターと醤油を加えて汁気を絡めながら少し煮る。
 - (6). 器に盛り付け、お好みでパセリのみじん切りを散らしたり彩をそえとおしゃれなメニューになります。

※材料の分量:4人分 エネルギー:167kcal/1人 塩分:1.0g/1人

今日は何の日・・・「環境の日」6/5

毎年、6月5日は「環境の日」なんです…環境保全に対する関心を高め、啓発活動を図る日として制定された、国連による国際的な記念日です。

由来は1972年から、スウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念しておりまして、1972年12月15日に日本とセネガルの共同提案により国連総会で「世界環境デー」として制定されました。日本では「環境基本法(平成5年11月19日法律第91号)」により、「事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高める」という目的のもと6月5日が「環境の日」として定められております。



この6月の1箇月間は、環境月間として毎年、環境省や地方自治体、企業などによって環境セミナーや展示会などが各地で開かれ、温室効果ガスの排出の抑制などに関する「新技術」の公開などが行われたりしています。確かに近年、異常気象やオゾンホールが存在、両極での氷の融解など世界規模での環境破壊による問題が報じられていますが、これ以上の環境の悪化を防ぐために、また、環境の改善・復旧を図るためにも私達一人一人が関心を持つ必要が大切だと思います。

魚沼の自然シリーズ・・・「サワガニ」

「魚沼の自然シリーズ」…今回は「サワガニ」について再考してみます。

このサワガニは日本の「固有種」で、青森県からトカラ列島(中之島)までの分布とされています…本土周辺の島々では、佐渡島・男女群島・域諸島・種子島・五島列島・屋久島などでも生息が報告されています。一生を淡水域で過ごす純淡水性の蟹で、稚蟹として孵化する(プランクトンとしての幼生期間を持たない)ため、他の蟹のように長距離の移動能力に欠ける。このことから地域集団毎に遺伝子レベルでの分化が認められ、20種近くの近縁種が存在すると言われています。



特徴は甲幅20～30mm、脚を含めた幅は50～70mmほどで、体色は甲が黒褐色脚が朱色のものが多いが、青白いものや紫がかったものも見られ地域個体群によって異なるようです。



川の中流域から上流域にかけて生息し、綺麗な水を好む事から水質階級Ⅰ(綺麗な水)の指標生物にもなっています。食性は雑食性で藻類、水性・陸生昆虫、カタツムリ、ミミズなど何でも食べます。

春から初夏にかけて交尾を行ったあと、雌は直径2mmほどの卵を数十個産卵し、腹脚に抱えて孵化するまで保護します。幼生は卵の中で変態し、孵化する際には既に蟹の姿となって出てきますが孵化した後もしばらく母蟹の腹部で保護されて過ごします。同じ川で生息するモクズガニやアカテガニなどは幼生を海に放さないと成長出来ませんが、サワガニは一生を通じ海とは無縁に生活します…寿命は数年～10年程度です。

「S/M・N 様邸」・・・基礎工事スタート

本年、第1号となる「新築物件」の「S・N様邸」。先月から「基礎工事」が始まり、今月から「木造躯体」の組立作業に入る予定です。このお宅は高床式基礎の木造三階建の住宅になります…なぜ高床式基礎なのかと言うと、冬の積雪対策もありますが河川の氾濫による浸水対策を考慮してです。例え浸水しても「家財を水害から守れるように」との考えで計画されております。高さも地上から土台の下端まで2.7mありますので、普通の基礎の住宅の開口部より高い位置に生活空間がある事になります…ですからかなりの規模の浸水でもまず大丈夫でしょう。

こうゆう基礎は魚沼地方では多いのですが、水害の事を考えれば全国的に普及させてもいいように考えます…構造的にはいろんな制約もありますが、絶対有利な構造だと思うのは私だけでしょうか？ 確かにコストはその分高掛かりますので考えさせられる部分はあるかもしれませんが…

お施主様から工事の進捗状況を「記事」にしても良いとのお墨付きを頂いていますので、完成迄、この「瓦版」やH・Pのブログで随時紹介させてもらおうと考えています…



6月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
水無月	先勝	友引	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
2019年	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日		地鎮祭吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日		地鎮祭上棟吉日	三隣亡	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日		地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	三隣亡	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日		地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	上棟吉日	